

ノリ養殖情報（第15報）

令和7年1月31日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は【陸上】調査です。

1. 調査結果

調査日：1月27日(月) 天候：くもり 気温：7.2℃(0:44時点)

(今回(1/27)の水温等の測定時間帯 0:45~2:37)

(前回(1/20)の水温等の測定時間帯 10:55~12:20)

調査点		水温 ℃		比重 σ15	栄養塩：無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 1月20日	今回	今回	前回 1月20日	今回	アカ	ツボ
1. 神代	支柱	9.2	10.2	20.7	27.0	2.7	8.8	++	なし
2. 仲よし下	支柱	9.1	11.9	22.7	7.5	6.0	4.1	++	なし
3. 半田	支柱	9.3	12.0	22.7	6.6	2.0	3.3	++	なし
4. 三会	支柱	9.5	12.1	23.0	5.5	3.0	4.2	++	なし

※ 栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

●主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻			大型珪藻
	スケルトネマ属	キートセロス属	タラシオネマ属	リゾソレニア属
1. 神代	380	17	0	14
2. 仲よし下	477	90	0	12
3. 半田	236	51	4	6
4. 三会	386	47	9	6

●調査結果概要

- ・水温は、9.1℃~9.5℃。海水比重(σ15)は、20.7~23.0。
- ・漁場に設置している温度計の1月14日から1月27日までの測定結果は、平均温度は7.9~9.7℃で、昨年より0.2~1.1℃低く推移しました。
- ・栄養塩は、5.5~27.0 μg-at/Lで、4観測点中2点でノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・あかぐされ病は神代・仲よし下・半田・三会で目視レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は確認されませんでした。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:キートセロスは減少傾向ですが、ユーカンピアは筑後川河口域から塩田川河口域にかけて増加傾向です(1月27日)。
- 福岡県:有明海福岡県海域において珪藻のキートセロス属、ユーカンピア ゾディアクス、リゾソレニア セチゲラ、渦鞭毛藻のアカシオ サングイネアによる着色域が確認されました(1月16日)。
- 熊本県:菊池川河口地先から宇土市赤瀬沖にかけて珪藻類(優占種:スケルトネマ属)による赤潮が確認されました(1月22日)。

3. 他県の情報

- 佐賀県:現在、冷凍在庫、水位調整や活性処理が行われています。アカおよびツボは確認されませんでした。川副町地先から太良町地先にかけて、色落ち(レベル2.5~3)が確認されました(1月27日)。
- 福岡県:現在、秋芽7~8回目の摘採が行われています。冷凍網が張り込まれ、8~9割の漁場が行使されています。アカは9調査点で確認され、重度が4点、中度が2点、軽度が3点でした。ツボは確認されませんでした。色落ちは13調査点で確認され、重度が7点、中度が2点、軽度が4点でした(1月27日)。
- 熊本県:アカの感染が23調査地点中18地点で確認されました。ツボは未確認です。多くの漁場で軽度から重度の色落ちが見られました(1月24日)。

4. 本県の情報

- ベタ漁場と支柱漁場で摘採が行われています。
- 1地点で色調低下が見られました。
- ノリ網の検鏡結果
 - ・4地点全てであかぐされ病が確認され、一部の漁場では蔓延していました。
 - ・付着物は珪藻(タビュラリア、リクモフロラなど)が見られました。
 - ・葉長は27.6~212.9mmの範囲で、平均は44.0~154.4mmでした。